

バンクーバー・パースペクティブ

—女性作家12人による表現—

Vancouver Perspective Vancouver Perspective Vancouver Perspective

1996.10.31(木)～11.24(日)

休館日 11.11(月)

横浜市民ギャラリー1,2階展示室
入場無料

パネルディスカッション

「バンクーバーと横浜における女性の芸術活動」

11.2(土) 17:30～19:00

参加者；グレッグ・ベラビー（企画者）

猿渡紀代子（横浜美術館学芸係長）

出展作家

主催；財団法人横浜市美術振興財団(横浜市民ギャラリー)

横浜市

エミリー・カー美術デザイン大学

チャールズ・H. スコット・ギャラリー

協賛；カナダ外務国際貿易省

後援；カナダ大使館

問い合わせ先

横浜市民ギャラリー

横浜市中区万代町1-1 教育文化センター内 JR関内駅南口1分 TEL.045-224-7920

出展作家

Vikky Alexander

Lorna Brown

Kati Campbell

Allyson Clay

Monique Fouquet

Lucy Hogg

Landon Mackenzie

Elsbeth Pratt

Anne Ramsden

Renee Van Halm

Jin-me Yoon

Sharyn Yuen

至桜木町

横浜市役所 ●

JR関内駅

至石川町

101
横浜市民ギャラリー

Vancouver Perspective
Vancouver Perspective
 Vancouver Perspective

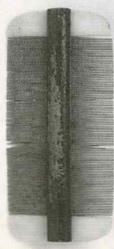
「バンクーバー・パースペクティブ —女性作家12人による表現—」展は、カナダ・バンクーバー市と横浜市との姉妹都市提携30周年を記念して開催されるものです。

平面、立体、インスタレーション等様々な作品を出展している12人の女性作家は、美術という枠内にとどまることなく、それぞれの問題意識を独自のイメージで表現しています。それは、多民族国家におけるアイデンティティ、美術の歴史をとりまく美術史的な言説、社会が直面してきた歴史、私たちが生活する場としての社会が抱えている問題など、広範な領域にわたります。作家は、変貌著しい現代社会に生きる私たちが直面している問題を明らかにするとともに、そうした現代社会の中でのアートの新しい道を探求しているのです。そして、観賞者である私たちは、作品を「見る」行為を通じて、自らのアイデンティティと、自らをとりまく社会に目を向けることになるでしょう。今回の企画は、バンクーバーで活躍する女性作家を紹介するだけでなく、日本の私たちに様々なメッセージを投げかけているのです。

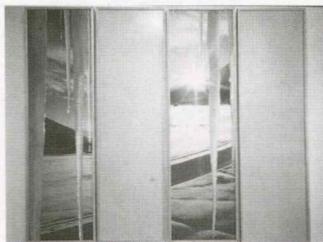
ジン・ミー・ユーン
 《グループ・オブ・シックスティ・セブン》(部分)
 1996年



シャリオン・ユエン
 《大西洋を越えて》(部分) 1996年



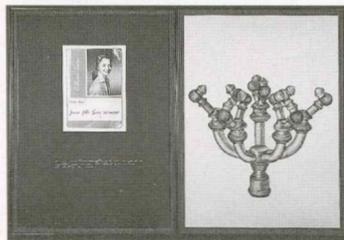
ヴィッキー・アレクザンダー
 《ノーザン・インテリア・セクション》 1989年



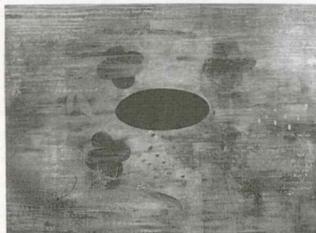
ケイティ・キャンベル
 《無題(フード)》 1994年



モニック・フーケー
 《過去、現在 No.5》 1996年



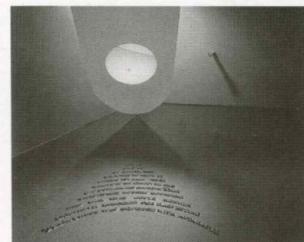
ランドン・マッケンジー
 《私の歌声が誰にも聞こえないかのように(サスカチワン)》
 1993年



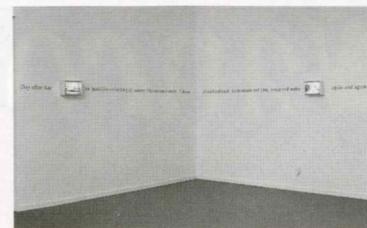
アン・ラムステン
 《旅》 1995年



ローナ・ブラウン
 《海》 1995年



アリソン・クレイ
 《くりかえし続く毎日と同じ一日》 1996年



ルーシー・ホグ
 《V No.1》(部分) 1993年



エルスペース・プラット
 《ラッキー・ミー》 1992年



リネイ・ヴァン・ヘルム
 《思索》 1996年



バンクーバー・パースペクティブ
 —女性作家12人による表現—

横浜市民ギャラリー